

## 一般質問の質問者順番と質問事項

(平成30年第2回 定例会)

質問順位	7 6番議員 牧 菌 綾 子
質問事項1	多文化共生の地域づくりをどう進めるか
質問の相手	町長
質問の要旨	<p>日本において、在留資格のある永住者が毎年増加し続け、10年前と比べ倍増している。また、技能実習・留学の在留資格を持つ人も、国による受け入れ推進、日本企業における外国人材への需要の拡大で、近年増加している。昨年11月に開かれた多文化共生のまちづくりシンポジウムを町民と一緒に考えるきっかけとして、今後どう進めていくのか。</p> <p>「外国人との共生社会」実現検討会議をまとめた資料に、外国人住民の3つの脆弱性を課題として整理されている。基山町において、その課題をクリアしていく上でどのような取組を進めていくのか、共通認識を持って確認しておくべきことがあると考える。</p>
具体的な質問	<p>(1) 町が考える多文化共生のまちづくりで、進めようとしている形を現状を踏まえ具体的に示せ</p> <p>(2) 全国的にトラブルの起きている事例も含め、急務と考えている問題等はあるか</p> <p>(3) 中心市街地活性化計画で示した各目標設定に、定住人口増、交流人口増等示しているが、リンクした内容での施策やイベントなど何か考えているか</p>

## 一般質問の質問者順番と質問事項

(平成30年第2回 定例会)

質問順位	7 6番議員 牧 菌 綾 子
質問事項2	基山町保育所整備基本構想について
質問の相手	町長
質問の要旨	<p>平成27年3月に出された基山町子ども・子育て支援事業計画の中で、平成31年までの5年間の基本目標ごとの計画期間において取り組む事業が示されている。計画期間中であっても、法改正や計画の実施状況、住民を取り巻く状況の変化に対応するため、必要に応じて見直しを行うとなっており、計画期間において取り組む事業での現状と課題の中で、需要量と供給量を慎重に想定し、施設整備に反映する必要があると明記されている。それによる保育所整備により策定された保育所整備基本構想に対し、保育サービス、支援内容についての説明を求める。</p>
具体的な質問	<p>(1) 公立保育所との連携において、子育て世代包括支援センターで対応する相談や問い合わせ事項で、子育て施策窓口のワンストップ化とは、現状よりどう利便性が変わるか説明を</p> <p>(2) 保育所の建替えにより子ども・子育て支援事業計画の計画期間において取り組む事業で見直すことになる内容があれば示せ</p> <p>(3) 新しい公立保育所には、町の子育ての中心的役割を果たす機能を追加、拡充するとあるが、具体的にはどのような内容なのか説明を</p>